



お問い合わせ先 資源ファイナンス部門 企画調整ユニット
E-mail/ B0190@jbic.go.jp
Phone/ +81-3-5218-3061

2020年12月



日本の力を、アフリカのために。

株式会社国際協力銀行（JBIC）は、日本と国際経済社会の健全な発展への貢献を目的とした政策金融機関です。近年の重点取組課題として、アフリカにおける我が国企業のビジネス展開支援を掲げています。

1 組織について

組織概要

名称	株式会社国際協力銀行 (Japan Bank for International Cooperation-JBIC)
総裁	前田 匡史
資本金	1兆8,838億円（日本政府100%出資）
出融資・保証承諾額 （2019年度）	1兆6,787億円（約154億米ドル）
出融資・保証残高 （2020年3月末）	15兆6,579億円（約1,438億米ドル）
職員数	636人（2020年3月末）
海外拠点	17カ所（アフリカ管轄：ロンドン、パリ、ドバイ事務所）

※米ドル換算は2020年3月末TTMレートを採用

政策に基づくファイナンス

一般の金融機関が行う金融を補完することを旨とし、日本および国際経済社会の健全な発展に寄与することを目的。

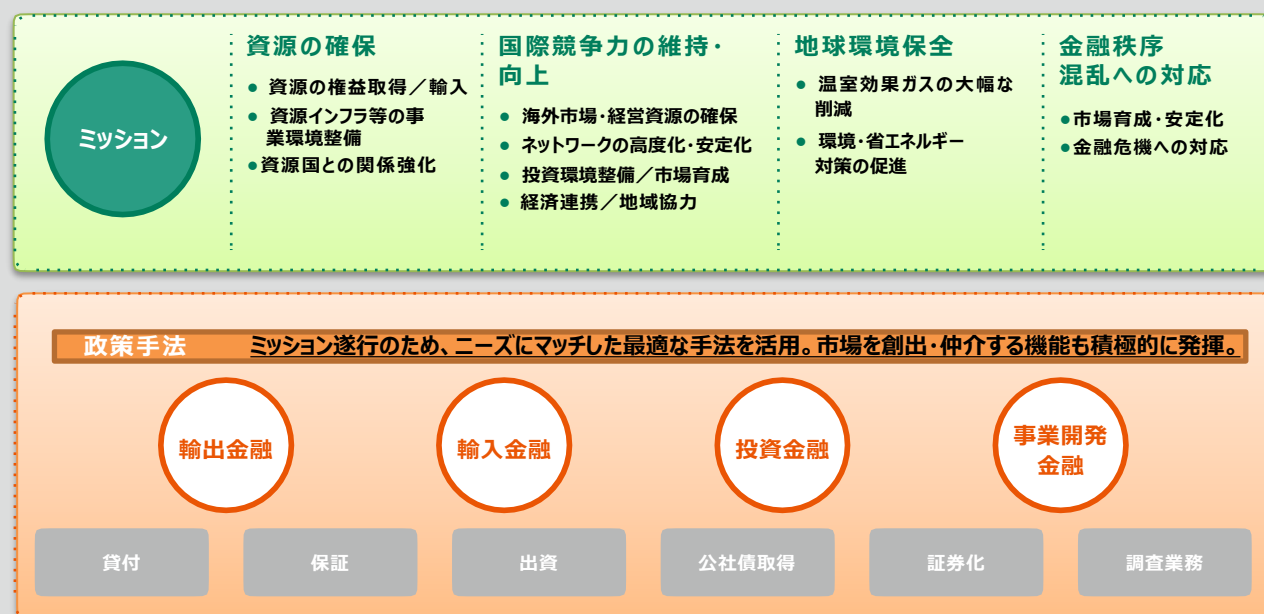
TICAD7 における日本政府の取組

- 民間投資拡大のための枠組みの整備・強化
- 債務持続可能性の確保
- 連結性強化に向けた質の高いインフラ投資
- 産業の多角化
- 産業人材育成、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）の拡大

など

2 ミッションと政策手法

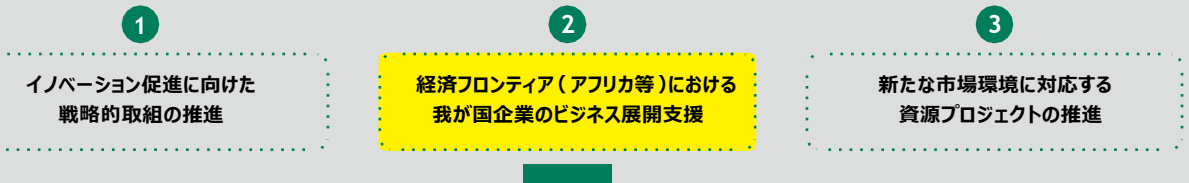
我が国および国際経済社会の健全な発展に寄与



3 中期経営計画（2018～2020年度）

重点取組課題（業務分野）

1 成長分野・新領域



2 インフラ海外展開

3 環境保全

4 M&A

5 政策金融の着実な遂行と業務の見直し

中期経営計画の重点取組課題にて、アフリカは経済フロンティアとして、JBICが我が国企業のビジネス展開を優先的に支援する位置づけ。

案件発掘・形成の促進を通じた我が国企業のビジネス機会創出

我が国との更なる関係強化が期待されるアフリカ・メコン・南アジア地域において、積極的なリスクテイク、国際機関等や各国政府系金融機関との連携等を通じて、我が国企業の事業戦略に即したビジネス活動を支援。

TICAD7 プログラムを見据えたアフリカ向け取り組みの強化

我が国企業のアフリカにおけるビジネス開拓に貢献するべく、アフリカ向け取組方針を策定し、案件形成を主体的に推進。



TICADにおけるJBICの役割

TICAD 7におけるJBICの貢献策

JBICは、TICAD7の機会を捉え、「JBICアフリカ貿易投資促進ファシリティ」（JBIC Facility for African Investment and Trade Enhancement: 通称「FAITH」）を更新し、FAITH 3を創設しました。FAITH 3のもとで、2019～2021年までの3年間で計45億ドルのアフリカ向け支援を見込んでいます。

FAITH3

1. アフリカ向け社会・環境関連投資の拡大を支援

JBIC3つのアフリカ向け支援策の柱

- 風力発電・地熱発電等のクリーン電源、非電化地域における分散型電源、水供給・水質汚染防止や廃棄物処理等、地球環境保全に資するインフラ整備に向け、「ポストコロナ成長ファシリティ」を活用し、日本企業による、アフリカのニーズに沿った最適なソリューションの導入を支援します。
- ヘルスケアや通信、サプライチェーンの強化等、アフリカの持続可能な社会基盤構築に繋がる日本企業の展開を支援します。

2. 国際機関・他国公的機関との連携強化

- 国際機関や他国公的機関との連携を通じ、アフリカにおける支援ネットワークの一層の強化とアフリカ向け案件における協調を図ります。
- アフリカ開発銀行、西アフリカ開発銀行、南部アフリカ開発銀行、欧州投資銀行、イタリア預託貸付公庫（CDP）、トルコ輸出入銀行、インド輸出入銀行等との連携関係を通じて案件形成を行うほか、他機関との新たな連携関係の構築も目指します。

3. 我が国企業のアフリカ向け輸出・投資支援の強化

- 東部・南部アフリカ貿易開発銀行及びアフリカ輸出入銀行向けの輸出クレジットラインを通じて、アフリカ全土をカバーする輸出支援ネットワークを構築し、日本企業のアフリカ向け輸出を迅速に支援します。
- 資源開発やインフラ案件等で必要となる長期・巨額のリスクマネーの供給を下支えし、日本企業のアフリカにおける事業展開を支援します。

日本とアフリカの未来を支える

JBICは、日本企業によるアフリカでの事業やアフリカの経済発展を支援しています。最近の支援事例をご紹介します。

投資金融

モロッコ

タザ陸上風力発電プロジェクト（2019年12月）

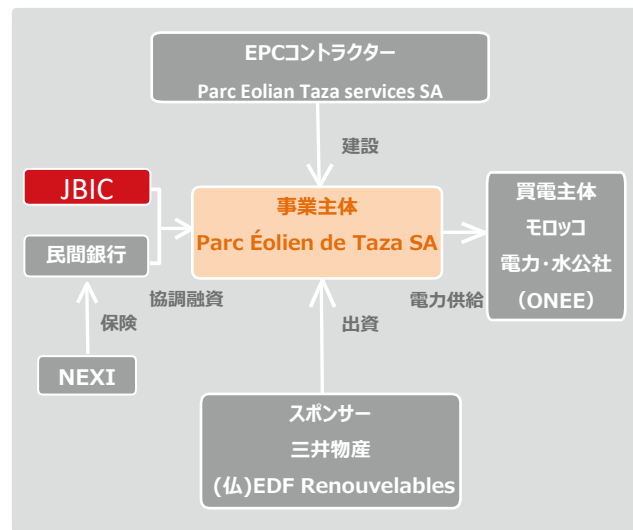
1. プロジェクト概要

- 融資対象：モロッコ王国北部タザ市近郊にて、陸上風力発電所（発電容量87.21MW（3.23MW×27基））をBOT方式にて建設・運転し、売電契約に基づき、商業運転開始後20年間に亘りモロッコ電力・水公社（略称：ONEE）に対して全量売電する事業。
- スポンサー：三井物産、(仏)EDF Renouvelables
- 融資契約調印時期：2019年12月20日
- 協調融資総額：113百万ユーロ
- JBIC融資額：44百万ユーロ



2. 本融資の意義

- 本邦企業の海外事業展開支援。
- 我が国政府が策定した「インフラシステム輸出戦略」（2013年5月経協インフラ戦略会議決定。2019年6月最終改訂。）及び再生可能エネルギーを含む低炭素型インフラ輸出に係る政策との合致。
- アフリカに対する民間投資支援。
- モロッコ王国の電力政策との合致。

投資金融
(資源)

モザンビーク

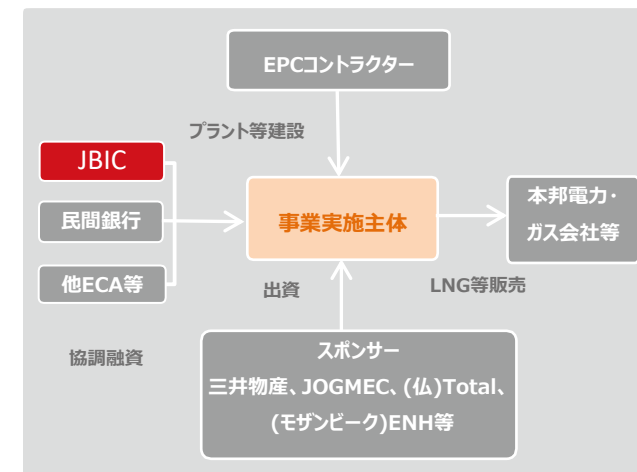
モザンビークLNG（ロブマ・オフショア・エリア1鉱区）プロジェクト（2020年7月）

1. プロジェクト概要

- 融資対象：モザンビーク共和国カーボデルガード州沖合に位置するGolfinho-Atumガス田を開発し、原料ガスを陸上に建設する液化プラント（年産1,312万トン）まで海底パイプラインにて搬送し、LNG等を製造・販売する事業。
- スポンサー：三井物産、JOGMEC、(仏)Total、(モザンビーク)ENH等の計8社
- 融資契約調印時期：2020年7月15日
- 協調融資総額：14,400百万米ドル
- JBIC融資額：3,000百万米ドル

2. 本融資の意義

- 我が国エネルギー資源の安定確保（本プロジェクトで製造されるLNGの約3割につき本邦電力・ガス会社が長期引取契約を締結済）。
- 柔軟な売買契約による本邦バイヤーの需給最適化への貢献（仕向地条項緩和、共同調達枠組）。
- アフリカにおける単一プロジェクトへの海外からの直接投資として過去最大規模。JBICとして、過去最大額のアフリカ向け融資。
- ホスト国の財政への貢献。



輸出金融

アンゴラ

ナミベ湾包括開発プロジェクト（2019年1月）

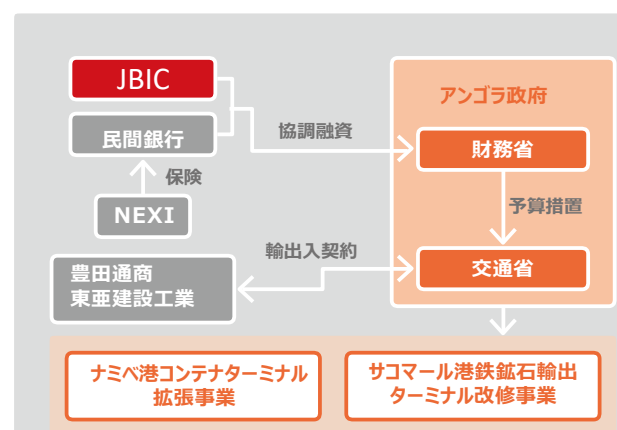
1. プロジェクト概要

- 融資対象：ナミベ湾における、①ナミベ港輸入コンテナターミナル拡張及び②サコマル港鉄鉱石輸出ターミナル改修事業に対する日本企業からの機器・役務の輸出。
- 輸出者：豊田通商、東亜建設工業
- 融資契約調印時期：2019年1月11日General Agreement
2019年3月28日各案件に係るContract Loan Agreement
- 協調融資総額
CLA①-約241億円及び約211百万米ドル
CLA②-約39億円及び約51百万米ドル
- JBIC融資額
CLA①-約144億円及び約126百万米ドル
CLA②-約23億円及び約30百万米ドル

2. 本融資の意義

- アンゴラ政府が対中国債務を低減する方針を掲げる中での日本の金融機関による大型融資。
- 豊田通商とともに、JBICがナミベ港輸入コンテナターミナル拡張に加え、アンゴラの外貨獲得に資するサコマル港鉄鉱石輸出ターミナル改修をパッケージとしてファイナンス面から検討可能であることをアンゴラ政府に提案し、輸出入契約の締結に至ったもの。

- ナミベ港コンテナターミナル拡張により、隣国ナミビアの港への依存軽減及びアンゴラ南部の経済活性化が見込まれる。またサコマル港鉄鉱石輸出ターミナル改修はより多くの鉄鉱石輸出を可能とし、ひいてはアンゴラの外貨獲得、経済多角化に寄与するもの。

輸出金融
クレジットライン型

東部・南部アフリカ貿易開発銀行（TDB）及びアフリカ輸出入銀行（Afrexim）向け輸出クレジットラインの設定（2019年5月）

1. プロジェクト概要

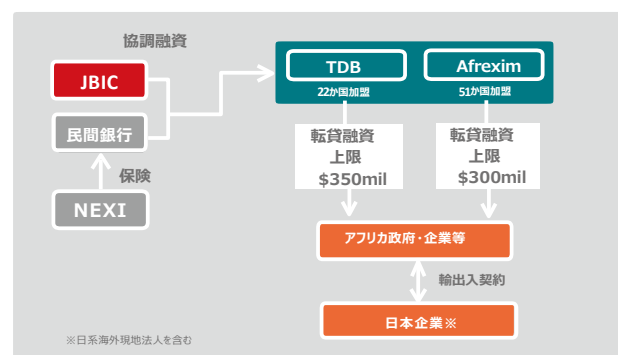
- TDB及びAfreximの業務対象国の事業者に対して、日本企業及び日系海外法人から機械・設備等を輸出するための資金をTDB及びAfreximを通じて融資するもの。
- 融資契約調印時期
TDB：2019年5月24日General Agreement
（輸出入契約承認期限2022年3月25日）
Afrexim：2019年5月31日General Agreement
（輸出入契約承認期限2021年3月25日）
- 協調融資総額
TDB：350百万米ドル（米ドル建）
Afrexim：300百万米ドル（米ドル/ユーロ建）
- JBIC融資額
TDB：210百万米ドル
Afrexim：180百万米ドル



2. 本融資の意義

- アフリカの事業拡大を担う日本企業から、TICAD7官民円卓会議の提案（2019年4月2日に安倍総理へ提出）を通じ、アフリカに知見を有する国や国際機関と日本の民間企業が、必要な情報・知見・ネットワーク・リソース等を共有・連携し、案件形成までできるよう、各省・機関のネットワークで支援期待される中での対応。

- 資源に偏重するアフリカの産業の多角化に寄与。両地域開発金融機関のアフリカ地域におけるリスクテイク・資金回収能力を活用し、アフリカ諸国での日本企業によるビジネス受注を広範囲かつ積極的に支援。
- 日本で製造された機器の輸出支援に加え、日本企業の海外現地法人が製造した機器のアフリカ向け輸出も支援対象（ローカル・バイヤー・クレジット）とし、広範囲な支援が可能。
- プロジェクトのホスト国が、両機関の業務対象国である場合、競争原理により競争力の高いファイナンス条件が期待。



※日系海外現地法人を含む

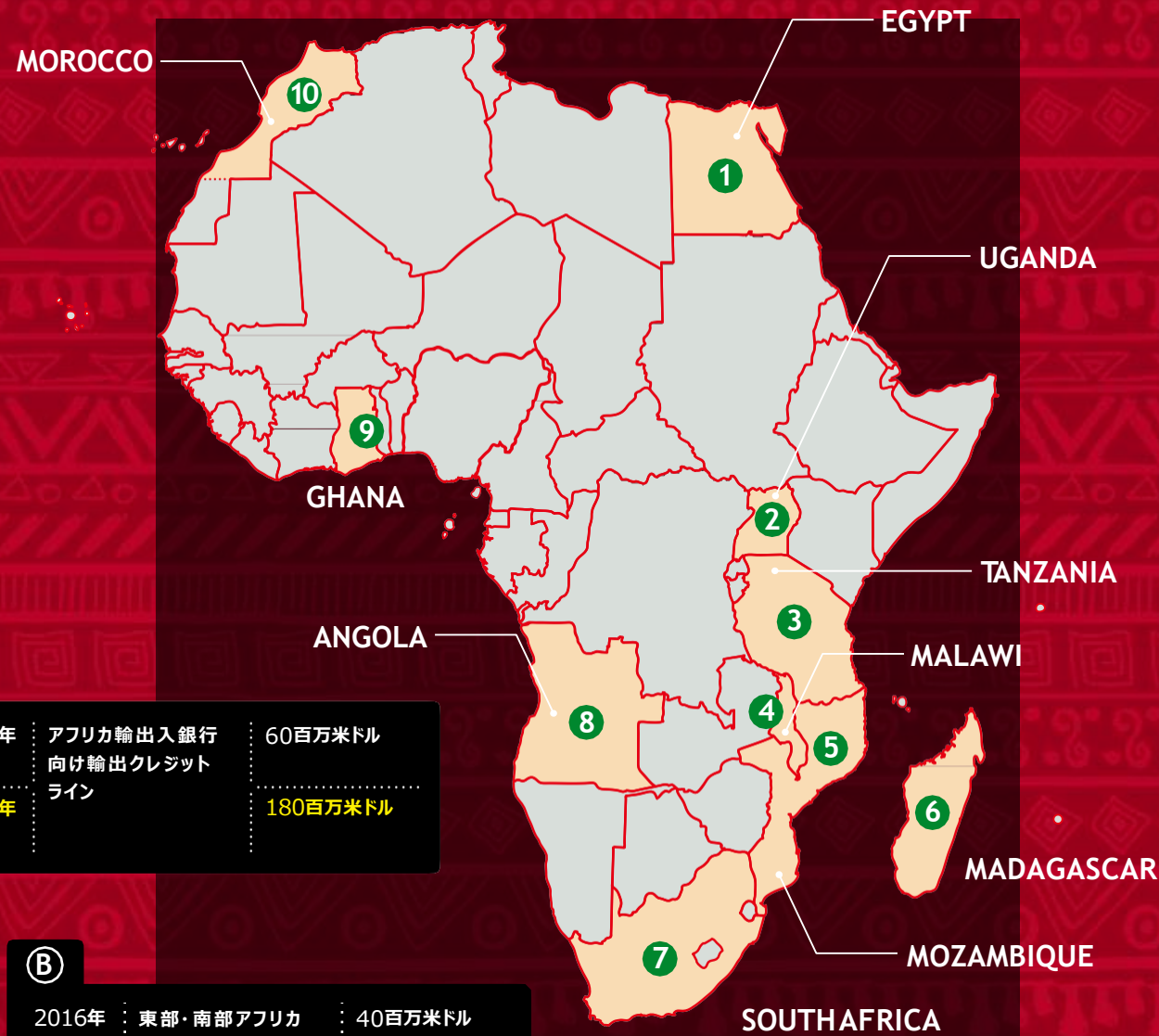


広がるファイナンス実績

JBICは、アフリカにおける取組を年々拡大しています。今後も日本の政府系金融機関として、日本企業によるアフリカでのビジネス推進やアフリカの経済発展に対し、長期安定的なファイナンス支援を実施していきます。

■ TICAD4以降のアフリカ向け主要出融資実績

調印日	国名	プロジェクト名	承諾金額 (JBIC分)
2008.7.9	7 南アフリカ	電力公社 (Eskom) 向け融資及び保証 (送配電設備敷設プロジェクト)	■ インフラ ■ 事業開発等金融 ■ 保証 融資・保証 75億円
2008.8.15	6 マダガスカル	アンバトビ・ニッケル・プロジェクト向け融資	■ 資源 ■ 投資金融 400百万米ドル
2008.9.25	1 エジプト	ガス公社 (EODC) 向け融資 (天然ガス開発関連プロジェクト)	■ 航空機・船舶 ■ 投資金融 270百万米ドル
2009.3.26	7 南アフリカ	運輸公社 (Transnet) 向け融資及び保証 (港湾拡張プロジェクト)	■ インフラ ■ 一般製造業・サービス業 ■ 事業開発等金融 ■ 保証 融資・保証 350億円
2009.10.5		スタンダードバンク向け融資 (貿易金融支援)	■ 一般製造業・サービス業 ■ 事業開発等金融 150百万米ドル
2010.2.25	－	The Currency Exchange Fund N.V. 向け出資	■ その他 ■ 出資 50百万米ドル
2010.8.9	1 エジプト	ERC製油所プロジェクト向け融資	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 540百万米ドル
2010.9.2		国有トンネル公社向け融資 (地下鉄車輛輸出プロジェクト)	■ インフラ ■ 環境 ■ 輸出金融 79億円
2010.11.24	8 アンゴラ	政府向け融資 (国営紡織工場再建プロジェクト)	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 116億円
2011.6.30	5 モザンビーク	木材チップ製造・販売プロジェクト向け融資	■ 資源 ■ 投資金融 4.8百万米ドル
2012.3.30	A ー	アフリカ輸出入銀行向け輸出クレジットライン	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 60百万米ドル
2012.6.20	10 モロッコ	ジョル frasファール発電プロジェクト向け融資	■ インフラ ■ 輸出金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 216百万米ドル
2012.8.24	8 アンゴラ	政府向け融資 (2件) (国営紡織工場再建プロジェクト)	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 185億円相当 181億円相当
2013.3.27	C ー	南部アフリカ開発銀行向け輸出クレジットライン	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 60百万米ドル
2013.6.2		南部アフリカ開発銀行向け融資及び保証 (再生可能エネルギープロジェクト)	■ 環境 ■ 事業開発等金融 ■ 保証 融資・保証 49百万米ドル
2013.9.27	9 ガーナ	T.E.N. 油田向け大水深対応FPSO備船プロジェクト向け融資	■ 資源 ■ 航空機・船舶 ■ 投資金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 508.2百万米ドル
2013.10.8	10 モロッコ	BMCE Bank 向け輸出クレジットライン	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 60百万米ドル
2014.9.18		サフィ発電プロジェクト向け融資	■ インフラ ■ 投資金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 719百万米ドル 147百万ユーロ
2015.3.26		海水淡水化プラント向け機器輸出向け融資	■ インフラ ■ 投資金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 11.5百万ユーロ
2015.3.27	7 南アフリカ共和国	スタンダードバンク向け融資及び保障 (再生可能エネルギープロジェクト)	■ 環境 ■ 事業開発等金融 融資・保証 237.5百万米ドル
	3 タンザニア	政府向け融資 (発電所建設プロジェクト)	■ インフラ ■ 輸出金融 175百万米ドル
2015.9.11	2 ウガンダ	政府向け融資 (道路建設・整備用建設機械等輸出プロジェクト)	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 75億円
2016.3.30	8 アンゴラ	アンゴラ開発銀行向け融資 (South Atlantic Cable System 光海底ケーブル敷設プロジェクト)	■ インフラ ■ 輸出金融 65百万米ドル
2016.8.27	B ー	東部・南部アフリカ貿易開発銀行向け輸出クレジットライン	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 40百万米ドル
2017.11.27	4 モザンビーク/マラウイ 5	ナカラ鉄道・港湾プロジェクト向け融資	■ 資源 ■ インフラ ■ 投資金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 1,030百万米ドル
2017.12.1	1 エジプト	スエズ湾風力発電プロジェクト向け融資	■ インフラ ■ 環境 ■ 投資金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 191百万米ドル
2019.1.11	8 アンゴラ	政府向け輸出クレジットライン (ナミベ湾包括開発プロジェクト)	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 346億円
2019.5.24	B ー	東部・南部アフリカ貿易開発銀行向け輸出クレジットライン	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 210百万米ドル
2019.5.31	A ー	アフリカ輸出入銀行向け輸出クレジットライン	■ 一般機械・設備 ■ 輸出金融 180百万米ドル
2019.12.20	10 モロッコ	タグラ上風力発電プロジェクト向け融資	■ インフラ ■ 環境 ■ 投資金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 44百万ユーロ
2020.5.7	7 南アフリカ共和国	日本企業が実施する自動車タイヤ製造・販売事業に対する南アフリカランド建て融資	■ 一般製造業・サービス業 ■ 投資金融 400百万南アフリカランド
2020.7.15	5 モザンビーク	モザンビーク LNG (ロブマ・オブショア・エリア1鉱区) プロジェクトに対する融資	■ 資源 ■ 投資金融 ■ プロジェクト・ファイナンス 30億米ドル



■ JBICのアフリカ向け出融資残高 (2020年3月末時点)

国名	出融資残高 (億円)	出融資件数 (件)
1 モロッコ	976	3
2 マダガスカル	841	2
3 エジプト	770	3
4 モザンビーク	707	2
5 アンゴラ	542	6
6 ガーナ	412	1
7 マラウイ	339	2
8 タンザニア	183	1
9 ウガンダ	75	1
10 南アフリカ	52	5
11 アルジェリア	9	2
12 セーシェル	4	1
13 ケニア	0.1	1
アフリカ合計	4,916 億円	30 件
JBIC 総計	13兆5,370 億円	1,429 件

■ 覚書等締結実績

2009年5月14日	アフリカ開発銀行との協力関係強化のための覚書
2010年5月28日	アフリカ輸出入銀行との業務協力関係の構築を目的とする覚書
2010年5月30日	エジプト政府との包括戦略パートナーシップに係る覚書
2011年3月8日	モロッコ政府との包括戦略パートナーシップに係る覚書
2014年9月30日	モザンビーク共和国政府との覚書
2016年8月26日	モロッコ商業銀行Attijariwafa Bank との覚書
2016年8月27日	イスラム開発銀行グループとの覚書
2019年8月27日	南部アフリカ開発銀行との業務協力協定締結
2019年8月30日	西アフリカ開発銀行との業務協力協定締結
2019年10月21日	欧州復興開発銀行との協力関係強化のための覚書
2020年6月5日	国際金融公社との協力関係強化のための覚書